

- 問1 脊柱について、正しいのはどれか。
1. 32～34 個の椎骨が積み重なってできている。
  2. 椎弓は体重を支える。
  3. 第2頸椎は環椎と呼ばれる。
  4. 側方から見ると、胸部と仙尾部では前方に膨らんでいる。
- 問2 骨格筋の名称とその作用について、誤っている組合せはどれか。
- a. 僧帽筋 ————— 頭頸部の回旋
  - b. 上腕三頭筋 ————— 肘関節の屈曲
  - c. 肋間筋 ————— 呼吸運動
  - d. 下腿三頭筋 ————— 足関節の底屈
1. a と b    2. a と c    3. b と d    4. c と d
- 問3 中枢神経系の各部位とその機能について、正しいものの組合せはどれか。
- a. 視床下部 ————— 平衡機能の調整
  - b. 大脳辺縁系 ————— 本能行動の調節
  - c. 小脳 ————— 体温調節
  - d. 脊髄 ————— 伸張反射
1. a と b    2. a と c    3. b と d    4. c と d
- 問4 血液系について、正しいのはどれか。
1. 成人の全血液量は体重の約 1/5～1/6 である。
  2. 白血球の機能は生体防御作用である。
  3. 血小板は脾臓でつくられる。
  4. T細胞は体液性免疫に関与する。
- 問5 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 拡張期血圧は、立位、座位、臥位の順に低くなる。
  2. 大動脈弓は、腕頭動脈・左総頸動脈・左鎖骨下動脈の3本を分枝する。
  3. 門脈は、胃から下の消化管及び脾臓からの血液が合流して臍臓に流入する血管である。
  4. 心拍数は延髄により調節される。
- 問6 呼吸の生理について、正しいのはどれか。
1. 予備呼気量と残気量の和を全肺気量という。
  2. 末梢性化学受容器は延髄に存在する。
  3. I型肺胞上皮細胞は、肺サーファクタントを分泌する。
  4. ビオー呼吸は、髄膜炎による頭蓋内圧亢進時にみられる。

問7 次のうち、上皮が図のような構造をとっている消化管はどれか。

1. 食道
2. 胃
3. 小腸
4. 大腸



問8 ホルモンを産生する器官とホルモンの働きについて、正しい組合せはどれか。

1. 下垂体後葉 ———— 成長促進
2. 副甲状腺 ———— エネルギー代謝の亢進
3. 副腎皮質 ———— 抗炎症作用
4. 副腎髄質 ———— 血糖低下作用

問9 尿の生成と排泄の生理について、誤っているのはどれか。

1. 健康な成人の1日の尿量は、約1,000~1,500 mlである。
2. 一側の腎臓には、約1万個の腎単位（ネフロン）が存在する。
3. 生理的には、ブドウ糖やたんぱく質が尿中に現れることはない。
4. 排尿反射の中樞は、仙髄にある。

問10 ビタミンとその欠乏症について、正しい組合せはどれか。

1. ビタミンA ———— 脚気
2. ビタミンB<sub>2</sub> ———— くる病
3. ビタミンD ———— 悪性貧血
4. ナイアシン ———— ペラグラ

問11 栄養素について、正しいのはどれか。

1. 飽和脂肪酸は、血中コレステロールを低下させる。
2. 麦芽糖は、ブドウ糖とガラクトースからなる。
3. 必須アミノ酸は、体内で必要量が合成される。
4. 不飽和脂肪酸は、植物性脂肪に多く含まれる。

問12 次のうち、誤っているのはどれか。

1. カイロミクロン（キロミクロン）はリポたんぱく質のひとつである。
2. 二糖類は、小腸内で単糖類に分解されて吸収される。
3. たんぱく質は、リパーゼによりアミノ酸に分解される。
4. 血糖が下がると、肝臓グリコーゲンが分解され、血液中にブドウ糖が放出される。

問 13 次のうち、誤っているのはどれか。

1. 薬物は、不適切に使用すると、有害となることがある。
2. 処方箋は、薬剤師が薬物の分量・投与方法などを記載した文書である。
3. 看護者は、薬物の副作用の第一発見者となることがある。
4. 生理活性物質や活性薬の作用を妨げる薬物を、拮抗薬または遮断薬という。

問 14 抗感染症薬について、誤っているのはどれか。

1. 抗菌薬には、殺菌作用を示すものと、静菌作用を示すものがある。
2. エリスロマイシンは、マイコプラズマ肺炎に有効である。
3. バンコマイシンは、MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）感染症に有効である。
4. 抗インフルエンザ薬は、症状発現から 72 時間以内の使用開始が望ましい。

問 15 次のうち、正しいのはどれか。

1. オータコイドは、環境ホルモンとも呼ばれる。
2. 副腎皮質ステロイド薬は、長期連用により満月様顔貌をきたしやすい。
3. 抗ヒスタミン薬には、興奮作用がある。
4. 非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）は、アスピリン喘息に有効である。

問 16 疾病とその病因や病態について、正しい組合せはどれか。

1. 心筋梗塞 ————— 先天異常
2. 結核 ————— 炎症
3. 肺炎 ————— 循環障害
4. ダウン症候群 ——— 代償性肥大

問 17 病理検査について、正しいのはどれか。

1. 疾病に関わる情報を、X線画像で診断することをいう。
2. 細胞診検査は、子宮頸がんや肺がんの検診に用いられる。
3. 迅速診断とは、主に手術後に検体の病理診断を行うことをいう。
4. 検体の固定は、組織の自己融解を促進させるために行う。

問 18 腫瘍について、正しいのはどれか。

1. 良性と悪性の鑑別には、病理診断は必要ない。
2. 非上皮性で悪性のものをがん腫という。
3. がんは、浸潤性増殖を起こすことが特徴である。
4. ウイルス感染は発がん因子とはならない。

問 19 消化器疾患とその代表的な症状について、正しいものの組合せはどれか。

- a. 食道静脈瘤 ————— 腹痛
- b. クロウン病 ————— 便秘
- c. 肝硬変 ————— 腹水
- d. 膵頭部がん ————— 黄疸

1. a と b    2. a と c    3. b と d    4. c と d

- 問 20 虚血性心疾患について、誤っているのはどれか。
1. 冠状動脈の動脈硬化や血栓が原因となる。
  2. 狭心症は心筋の壊死を伴う。
  3. 主な症状は胸部痛である。
  4. 危険因子として喫煙があげられる。
- 問 21 血液疾患について、正しいのはどれか。
1. 巨赤芽球性貧血の原因として、出血があげられる。
  2. 白血病では感染は起こりにくい。
  3. 悪性リンパ腫では、リンパ節や臓器に腫瘍がみられる。
  4. 血友病では凝固機能が亢進する。
- 問 22 次のうち、正しいのはどれか。
1. リケッチアを原因とする疾患に、ウイルス病がある。
  2. 梅毒の感染経路は、空気感染である。
  3. 肺炎球菌はグラム陰性球菌である。
  4. 破傷風菌は外毒素を産生する。
- 問 23 結核症について、正しいのはどれか。
1. 結核菌は、チール-ネールゼン法により青く染色される。
  2. 結核菌は、培養により数日で集落を認める。
  3. 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律で3類感染症に分類される。
  4. 予防として、BCG接種を行う。
- 問 24 次のうち、正しい組合せはどれか。
1. クラミジア ————— オウム病
  2. ボツリヌス菌 ——— 伝染性単核（球）症
  3. ディフィシル菌 —— 伝染性紅斑
  4. EBウイルス ——— 食中毒
- 問 25 「国際看護師協会（ICN）看護師の倫理綱領」の前文に示された看護師の基本的責任について、誤っているのはどれか。
1. 退院の促進
  2. 健康の回復
  3. 苦痛の緩和
  4. 健康の増進
- 問 26 保健師助産師看護師法第42条の2において、守秘義務が規定されていないのはどれか。
1. 保健師
  2. 助産師
  3. 看護師
  4. 准看護師

- 問 27 エリクソンによる発達段階とその課題について、正しい組合せはどれか。
1. 乳児期 \_\_\_\_\_ 自立感
  2. 学童期 \_\_\_\_\_ 勤勉
  3. 青年期 \_\_\_\_\_ 親密性
  4. 壮年期 \_\_\_\_\_ 統合性
- 問 28 防衛機制について、誤っているのはどれか。
1. 抑圧とは、意識することが苦痛な観念を無意識下に追いやることである。
  2. 昇華とは、社会的に認められない欲求などを、社会的に容認される目標に向けることである。
  3. 否認とは、不快な現実を認めるのを拒むことである。
  4. 反動形成とは、より低レベルの発達段階に逆もどりすることである。
- 問 29 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 産後うつ病は、産後4～6週間に発症することが多い。
  2. 母親から離されたことによって生じる分離不安は、学童期にみられやすい。
  3. 空の巣症候群は、子育てを生きがいにしてきた専業主婦に多くみられる。
  4. 高齢者が環境の変化に適応できない場合、せん妄を起こしやすい。
- 問 30 わが国の保健医療福祉制度について、誤っているのはどれか。
1. 地域保健法には、保健所の設置や業務に関することが定められている。
  2. 国民健康保険は、被用者（被雇用者）のための保険である。
  3. 障害者総合支援法には、難病が対象として含まれている。
  4. 学校保健安全法に基づき、児童生徒の定期的な健康診断を実施している。
- 問 31 次のうち、正しいのはどれか。
1. 医師が結核と診断した場合は、厚生労働省に届けなければならない。
  2. 75歳以上の高齢者に対する医療の給付は、介護保険法に基づいている。
  3. 生活保護に関する事務は、都道府県及び市町村の福祉事務所が行っている。
  4. 助産施設は、母子保健法に定められた施設である。
- 問 32 医療従事者の業務について、誤っているのはどれか。
1. 看護師は保健指導を行うことができる。
  2. 准看護師は、臨時応急の場合であっても医師・看護師の指示がなければ手当てはできない。
  3. 診療放射線技師は、磁気共鳴診断装置による検査を行うことができる。
  4. 診療に従事する医師は、臨床研修を受けなければならない。
- 問 33 医療法について、正しいのはどれか。
1. 市町村は、医療計画を作成する必要がある。
  2. 有床診療所は、20人以下の患者を入院させるための施設を有するものをいう。
  3. 診療に関する諸記録の保存期間は、3年とされている。
  4. 病院等における看護師・准看護師の配置基準が決められている。

- 問 34 ブラウンレポート（1948 年）について、正しいのはどれか。
1. 個別的看護を提唱した。
  2. 専門職業としての看護を方向づけた。
  3. 国際看護師協会（ICN）がまとめた、「看護の機能」（1950 年）に受け継がれた。
  4. 看護教育が、医学的知識の強化を図る契機となった。
- 問 35 マズローによる人間の欲求の階層において、最も基本的な欲求はどれか。
1. 所属の欲求
  2. 生理的欲求
  3. 自尊の欲求
  4. 自己実現の欲求
- 問 36 看護の対象である人間のとらえ方で、適切でないのはどれか。
1. 身体的・精神的・社会的存在である。
  2. 同じ速さで成長・発達する。
  3. 環境と相互作用する。
  4. 共通した基本的ニードがある。
- 問 37 リハビリテーション看護について、誤っているのはどれか。
1. 疾患や障害を受容し、意欲が起きるように援助を行う。
  2. 家族や職場の人々にも協力を求め、必要な教育を行う。
  3. 医師・リハビリテーション専門職などとともに、チームで情報交換や調整を行う。
  4. 急性期を避け、症状が安定してから行う。
- 問 38 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 医療事故には、不可抗力（偶然）によるものは含まれない。
  2. リスクマネジメントは、リスクの把握、評価・分析、再評価という一連のプロセスで行われる。
  3. ヒヤリ・ハット体験は、記録（インシデントレポート）に残し、報告する。
  4. 看護者は、医療事故が発生した場合に、刑事上・民事上・行政上の責任が問われる。
- 問 39 ボディメカニクスの原理について、誤っているのはどれか。
1. 身体を安定させるためには、支持基底面を狭くする。
  2. 対象者に近づき、互いの重心を接近させる。
  3. 対象者の身体を小さくまとめる。
  4. てこの原理を応用する。
- 問 40 バイタルサインの測定について、正しい組合せはどれか。
1. 聴診法による血圧測定部位 ————— 橈骨動脈
  2. 腋窩検温時の体温計の挿入方向 ————— 前上方から後下方へ
  3. 脈拍が弱く触知しにくい場合の測定部位 —— 頸動脈
  4. 呼吸筋麻痺がある場合の呼吸測定 ————— 胸部に手をあてる

- 問 41 意識の測定について、誤っているのはどれか。
1. 痛み刺激で覚醒しない状態は、ジャパン - コーマ - スケール (JCS) でⅡ-30である。
  2. グラスゴー - コーマ - スケール (GCS) では、最重症3点である。
  3. 意識レベルの測定は、時間を追って観察する。
  4. 瞳孔反応などの眼症状や神経症状などの随伴症状も観察する。
- 問 42 身体測定について、正しいのはどれか。
1. 身長は、まっすぐ前を見て少し顎を上げた状態で測定する。
  2. 胸囲は、ふつうに呼吸をさせ吸気終了時の目盛りを読む。
  3. 最大腹囲は、臍の位置に限らず、最も大きいと思われる位置で測定する。
  4. 握力は、2回以上測定し左右それぞれの平均値を記録する。
- 問 43 看護記録について、誤っているのはどれか。
1. 看護行為の結果を評価するための資料となる。
  2. 医療者間で情報を共有する手段である。
  3. 看護ケアの質の向上につながる。
  4. 患者の特定の反応・状態に焦点を当てて記録する様式を問題志向型 (POS) 記録様式という。
- 問 44 看護過程について、正しいのはどれか。
1. アセスメントは、看護過程の第2段階で行われる。
  2. 看護目標は、1つの看護問題について複数設定することはできない。
  3. 具体的援助計画は、対象者や家族の理解が得られるものにする。
  4. 看護計画は、疾患名が明確になってから立案する。
- 問 45 地震発生時の対応について、誤っているのはどれか。
1. 落ち着いて身体の安全を守り、行動するよう患者に声をかける。
  2. 火災が発生した場合は、初期消火を行う。
  3. 揺れを感じたら、すばやく出入り口を開ける。
  4. 介助が必要な患者は、エレベーターを使用して避難させる。
- 問 46 感染について、誤っているのはどれか。
1. 病原微生物が人体内に侵入し、臨床症状を示した場合を感染の発症という。
  2. 看護師は院内感染の感染源となり得る。
  3. 飛沫感染の標準予防策として、N95マスクを着用する。
  4. 器具に付着した病原体は、消毒または滅菌を行い除去する。
- 問 47 病床環境について、正しいのはどれか。
1. 体感温度 (感覚温度) は、温度と湿度の2要素の条件によって決まる。
  2. 換気をする際は、風を直接患者に当てないように、掛け物やスクリーンを用いる。
  3. 騒音の環境基準値は、療養施設地域では、夜は60デシベル以下である。
  4. 2人以上の病室では、ベッド間隔は90~100cmあけることが適当とされている。

- 問 48 睡眠とその看護について、正しいのはどれか。
1. ノンレム睡眠は身体を休息させ、レム睡眠は脳を休息させる。
  2. 睡眠中は、心拍数が増加する。
  3. 体位に制限がなければ、患者の好む体位をとらせてもよい。
  4. 不眠の訴えがあれば、准看護師の判断で睡眠薬を使用してよい。
- 問 49 褥瘡とその看護について、誤っているのはどれか。
1. 浮腫や低栄養状態があると、褥瘡が発生しやすくなる。
  2. 仰臥位での褥瘡好発部位には大転子部がある。
  3. 2時間ごとの体位変換を行う。
  4. 摩擦・ずれを避ける。
- 問 50 清潔の援助について、誤っているのはどれか。
1. 陰部洗浄は、手袋を用いて行う。
  2. 全身清拭には 40℃の湯を準備する。
  3. 口腔の清潔援助を仰臥位で行う場合は、顔を横に向ける。
  4. 腹部の清拭は、結腸の走行に沿って円を描くように拭く。
- 問 51 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 無機塩類・ビタミンは、生理機能を調整する栄養素である。
  2. 食欲は、脳幹にある食欲中枢によって調節される。
  3. 食欲は、身体的・心理的影響を受ける。
  4. 食事には、対人関係を円滑にする意義がある。
- 問 52 次のうち、正しいのはどれか。
1. 排泄とは、不要な代謝産物や有害な物質を、尿・便・汗・呼気とともに体外に排出することをいう。
  2. 便意が生じたとき、意識的に外肛門括約筋を収縮させることによって、排便が促される。
  3. 健康な成人は、膀胱内の貯尿量が 50～100 ml になると尿意を感じる。
  4. 健康な成人は、摂取したものが便として排泄されるまで 12 時間を要する。
- 問 53 無菌操作について、誤っているのはどれか。
1. 実施前は、衛生的手洗いを行う。
  2. 滅菌物は、腰よりも高い位置で取り扱う。
  3. 消毒薬に浸した綿球を持つ場合は、鑷子の先端を水平より高く保つ。
  4. 滅菌袋は、内側に触れないように開ける。
- 問 54 処置における患者の体位について、正しい組合せはどれか。
1. 胸腔穿刺 ————— シムス位
  2. 腰椎穿刺 ————— 腹臥位
  3. 導尿 ————— 仰臥位
  4. 腸洗浄 ————— 膝胸位

- 問 55 注射について、誤っているのはどれか。
1. 皮下注射は、筋肉内注射よりも薬剤の吸収速度が遅い。
  2. 静脈内注射を前腕正中皮静脈に行う。
  3. 筋肉内注射を大殿筋に行う。
  4. 皮内注射を皮膚面に対して平行に近い角度で行う。
- 問 56 薬物の管理について、正しいのはどれか。
1. 麻薬の管理は、毒物及び劇物取締法で規定されている。
  2. 毒薬は、黒地に白枠を囲み、白字で品名及び「毒」と記載する。
  3. 劇薬は、他の医薬品と区別して陳列し、施錠する必要がある。
  4. 処置を中止した麻薬は、各部署で処分する。
- 問 57 酸素吸入について、誤っているのはどれか。
1. 鼻腔カニューレは、鼻腔からはずれやすいので注意する。
  2. 鼻腔カニューレ法では、患者に口呼吸を促す。
  3. 酸素マスク法は、高濃度の酸素投与に有用である。
  4. 酸素マスク法では、マスクのゴムが頬部や耳介に食い込まないようにする。
- 問 58 留置カテーテル法について、誤っているのはどれか。
1. カテーテルのバルーンには、滅菌蒸留水を入れる。
  2. カテーテル挿入は、無菌操作で行う。
  3. 男性の場合、カテーテルは陰茎を斜め上方向に向けて腹部に固定する。
  4. 蓄尿バッグは、カテーテル挿入部位より高い位置で固定する。
- 問 59 浣腸について、正しいのはどれか。
1. 成人の場合、カテーテルを挿入する長さは約 10cm である。
  2. 浣腸液の温度は、45～48℃が適している。
  3. 催下浣腸には、グリセリン浣腸や石けん浣腸がある。
  4. 浣腸時の患者の体位は、右側臥位が適している。
- 問 60 穿刺について、誤っているのはどれか。
1. 検体の採取や治療のため、身体のある部位に特殊な針を刺すことをいう。
  2. 胸腔穿刺・腹腔穿刺・腰椎穿刺などがある。
  3. 穿刺中の排液は、急速に行う。
  4. 穿刺に伴うショック症状の観察が必要である。
- 問 61 吸引について、誤っているのはどれか。
1. 一時的吸引法とは、注射器や吸引器を用いて吸引する方法である。
  2. 胸腔内持続吸引では、吸引器の陰圧は常に指示圧を保つ。
  3. 気道内分泌物の 1 回の吸引時間は、30 秒以上とする。
  4. 気道吸引後は、呼吸音・呼吸回数・チアノーゼの有無などを観察する。

- 問 62 包帯法について、正しいのはどれか。
1. 被覆・支持・圧迫などの目的がある。
  2. 四肢に包帯を巻く場合は、中枢から末梢に向けて巻く。
  3. らせん帯は、関節の屈曲・伸展が可能な巻き方である。
  4. 包帯の結び目は、患部の上にくるようにとめる。
- 問 63 急性期にある患者の特徴と看護について、正しいのはどれか。
1. 病状の進行がゆるやかである。
  2. 意識のない患者に対しては、言葉かけは行わない。
  3. 日常生活援助は、病状が安定してから行う。
  4. 生命の維持や生理的機能の安定が優先される。
- 問 64 終末期にある患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 1977 年を境に、病院などの施設より自宅で死亡する人が多くなった。
  2. トータルペインとは、身体的・心理的・社会的苦痛の 3 つのことである。
  3. 予期悲嘆に対しては積極的に励ます。
  4. ホスピスでは、延命治療よりも患者の QOL を重視する。
- 問 65 継続看護について、正しいのはどれか。
1. 看護を継続する方法には、口頭での申し送りは含まれない。
  2. 看護要約は、外来から病棟への継続治療のために記載される。
  3. 退院が決定したら、退院計画の立案を行う。
  4. 退院指導は、患者や家族が自信を持って生活できるよう計画的に行う。
- 問 66 脱水について、誤っているのはどれか。
1. ナトリウム欠乏性脱水は、強い喉の渇きを感じる。
  2. 水欠乏性脱水では、皮膚・粘膜の乾燥が起こる。
  3. 脱水症では、めまい・立ちくらみが出現する。
  4. 脱水が進行すると、ショック状態や腎不全に陥ることがある。
- 問 67 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 激しい咳嗽が続くと、体力の消耗や肋骨骨折を起こすことがある。
  2. 喀痰を伴う咳嗽を、乾性咳嗽という。
  3. 喀血時は、窒息に注意する。
  4. 患者の呼気に合わせて胸壁を圧迫する排痰法を、スクイーピングという。
- 問 68 ショック状態の患者の特徴について、誤っているのはどれか。
1. 脈拍微弱
  2. 尿量増加
  3. 血圧低下
  4. チアノーゼ

問 69 下痢・腹痛のある患者の看護について、正しいものの組合せはどれか。

- a. 排便後、肛門周囲のびらんや潰瘍を予防するため、清潔を保つ。
- b. 腹部の保温は、腹痛の緩和に効果がある。
- c. 腹部の圧迫やマッサージは、腹痛に効果がある。
- d. 水分摂取を控えるように指導する。

1. a と b    2. a と c    3. b と d    4. c と d

問 70 疾患とその食事療法について、誤っている組合せはどれか。

- 1. 糖尿病                      低エネルギー食
- 2. 痛風                        低プリン食
- 3. 高血圧症                   低ナトリウム食
- 4. 胆石症                      低たんぱく食

問 71 薬物療法について、正しいのはどれか。

- 1. 小児では、薬物の作用が増強しやすい。
- 2. 高齢者では、薬物の副作用が出にくい。
- 3. 患者と看護師間の信頼関係は、服薬におけるコンプライアンスに影響しない。
- 4. 薬理作用に飲食物は影響しない。

問 72 輸液療法を受ける患者とその看護について、正しいものの組合せはどれか。

- a. アレルギー性副作用の症状を観察する。
- b. 自動輸液ポンプは、感染防止を目的として使用する。
- c. 輸液ラインに空気が入っていないかを観察する。
- d. 浸透圧の高い輸液は、末梢静脈からの投与が適している。

1. a と b    2. a と c    3. b と d    4. c と d

問 73 放射線の特徴と放射線療法について、正しいのはどれか。

- 1. 放射線の感受性は、細胞分裂が盛んなものほど低い。
- 2. 放射線宿酔とは、皮膚・粘膜の局所症状である。
- 3. 放射線防護の三原則は、時間・遮蔽・洗浄である。
- 4. 密封小線源療法中は、隔離が必要である。

問 74 救命処置を受ける患者の看護について、誤っているのはどれか。

- 1. 舌根沈下のある場合は、頭部後屈あご先挙上を行う。
- 2. 胸部圧迫は、70 回/分で行う。
- 3. AED（自動体外式除細動器）は、音声に従って操作を行う。
- 4. 二次救命処置は、医師の指導下で行わなければならない。

- 問 75 全身麻酔中の合併症について、誤っているのはどれか。
1. 血圧低下
  2. 低酸素血症
  3. 筋緊張の消失
  4. 不整脈
- 問 76 手術を受ける患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 低栄養の患者は、手術前に栄養状態を整えておく。
  2. 手術創の発赤・腫脹・発熱・疼痛の有無を観察する。
  3. 無気肺・沈下性肺炎を予防するため、手術後2～3日は絶対安静とする。
  4. 術後出血の観察は、ドレーンの排液に注意する。
- 問 77 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 肺の聴診は、左右対称に上から下に行く。
  2. 胸部単純X線検査は、呼吸器疾患の診断に必須の検査である。
  3. 超音波検査は、無気肺や胸水の診断に有効ではない。
  4. 動脈血酸素飽和度は、動脈血を採取しなくても測定が可能である。
- 問 78 次のうち、正しいものの組合せはどれか。
- a. 動脈血酸素分圧の基準値は、年齢によらずほぼ一定である。
  - b. 動脈血酸素分圧が正常でも、酸素療法を行う場合がある。
  - c. 自発呼吸が全くない患者には、人工呼吸器による補助呼吸を行う。
  - d. 非侵襲的陽圧換気（NPPV）では、気管内挿管の必要がない。
1. aとb    2. aとc    3. bとd    4. cとd
- 問 79 気胸について、正しいのはどれか。
1. 自然気胸は、男性に比べて女性に多く発症する。
  2. 自然気胸は、胸部の外傷が原因で起こる。
  3. 肺の表面の一部に穴が空き、空気が腹腔内へ漏れ出すことをいう。
  4. 胸腔ドレナージを行い、肺の膨張を促す。
- 問 80 肺がんについて、誤っているのはどれか。
1. 扁平上皮がんは、早い時期に咳嗽や血痰があらわれることがある。
  2. 組織型により治療法が異なる。
  3. TNM分類の進行度では、IV期が最も進行している。
  4. 腫瘍が上大静脈を圧迫すると、嗄声が起こる。
- 問 81 人工呼吸器管理中の看護について、誤っているのはどれか。
1. 気管吸引時は無菌操作で行う。
  2. 床上での体動が制限されるため、セルフケアの援助を行う。
  3. ファイティングとは、自発呼吸と人工呼吸が同調することをいう。
  4. 合併症として、心拍出量の低下に注意する。

- 問 82 次のうち、誤っているのはどれか。
1. びまん性汎細気管支炎では、慢性副鼻腔炎を合併することが多い。
  2. 気管支喘息の治療には、抗アレルギー薬が用いられる。
  3. 市中肺炎の起炎菌には、肺炎球菌がある。
  4. 過敏性肺臓炎の原因は、喫煙によるものが最も多い。
- 問 83 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 吸入療法では、ゆっくりとした深い呼吸を指導する。
  2. ステロイド薬の吸入後は、うがいをする。
  3. 在宅酸素療法は、患者のQOLの改善につながる。
  4. 呼吸困難を訴える患者には、まず高濃度の酸素を投与する。
- 問 84 心臓の検査所見について、正しいのはどれか。
1. 心電図上のT波は心房の収縮を表す。
  2. 心電図上のP波は心室の弛緩を表す。
  3. I音は房室弁の閉じる音である。
  4. II音は大動脈弁の開く音である。
- 問 85 次のうち、誤っている組合せはどれか。
1. WPW症候群 ————— 経皮的冠動脈インターベンション治療
  2. 大動脈弁閉鎖不全症 ————— 人工弁置換術
  3. アダムス・ストークス症候群 —— ペースメーカー植え込み術
  4. 胸部大動脈瘤 ————— 人工血管置換術
- 問 86 次のうち、最も緊急性の低い不整脈はどれか。
1. 心室頻拍
  2. I度房室ブロック
  3. 心室細動
  4. 心房細動
- 問 87 黄疸のある患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 黄疸の有無は、爪床で確認する。
  2. 掻痒感がある場合は、石けん清拭を行う。
  3. 積極的に運動するように指導する。
  4. 便秘がある場合は、必要に応じて緩下剤を使用する。
- 問 88 大腸内視鏡検査時の看護について、正しいのはどれか。
1. 検査の3時間前から禁食であることを説明する。
  2. 検査前の浣腸は禁忌である。
  3. 軟便になったら、検査が受けられることを説明する。
  4. 検査後は腹痛や出血を観察する。

- 問 89 胃がんの転移について、正しいのはどれか。
1. 腎臓への転移を、クルッケンベルグ転移という。
  2. ダグラス窩への転移を、シュニッツラー転移という。
  3. 右鎖骨上リンパ節への転移を、ウィルヒョウ転移という。
  4. 血行性転移によって、腹膜播種が起こりやすい。
- 問 90 出血傾向がある患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 採血後は、止血を確実に行う。
  2. マンシュートによる圧迫時間は最小限にする。
  3. 歯磨きは、汚れを残さないように強く行うことを指導する。
  4. 排便を調整し、努責を避けるように指導する。
- 問 91 骨髄穿刺を受ける患者への説明について、正しいのはどれか。
1. 穿刺部位は腰椎である。
  2. 局所麻酔で行う。
  3. 骨髄液の吸引時に痛みは生じない。
  4. 翌日までは絶対安静である。
- 問 92 関節リウマチ患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 初期症状として、夜の手足のこわばりを観察する。
  2. 関節を動かす前は、関節を冷やすように促す。
  3. コップの取っ手は、指先でつまむように指導する。
  4. 関節の変形には、自助具を活用して自立を促す。
- 問 93 アナフィラキシーショックとその看護について、誤っているのはどれか。
1. I型アレルギーの反応である。
  2. 全身の蕁麻疹や呼吸困難が出現しやすい。
  3. 心肺停止に備えて、昇圧薬・除細動器などを準備する。
  4. 食物が原因で起こるアレルギーではないことを説明する。
- 問 94 インスリン治療中の糖尿病患者に低血糖症状が出現した。その患者の状態と看護について、正しいのはどれか。
1. 激しい口渇や消化器症状が出現する。
  2. 血糖値が 100 mg/dℓ以下になると昏睡の危険がある。
  3. 経口摂取可能な場合は、ブドウ糖を 5～10g 飲ませる。
  4. 普段の食事量を増やすように指導する。
- 問 95 甲状腺機能低下症患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 体重減少や下痢の有無と程度を観察する。
  2. 検査データでは、血漿  $T_3$ ・ $T_4$ ・TSH 値を把握する。
  3. コレステロールを多く含む食品をすすめる。
  4. 清拭後は、皮膚の乾燥に努める。

- 問 96 尿崩症とその患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. バソプレシン（ADH）の過剰分泌で起こる。
  2. 脱水症状の有無を観察する。
  3. 水分出納バランスをチェックする。
  4. トイレに近い病室にする。
- 問 97 髄膜炎の患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 項部硬直の有無を観察する。
  2. 光や音の刺激が少ない環境にする。
  3. ベッドの足側を挙上する。
  4. 安静の必要性を説明する。
- 問 98 運動麻痺のある脳疾患患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 臥床時は、長時間麻痺側を下にしない。
  2. ハンドロールを握らせ、手指の拘縮を予防する。
  3. 他動運動は避ける。
  4. 筋力の評価として、徒手筋力テスト（MMT）を用いる。
- 問 99 腎・泌尿器疾患の検査について、正しいものの組合せはどれか。
- a. 尿検査では、中間尿の採尿が原則である。
  - b. 腎生検後は、血尿の有無の観察が必要である。
  - c. フィッシュバーグ濃縮試験では、検査前の禁食は必要ない。
  - d. 放射線造影検査では、検査直前に造影剤を内服させる。
1. aとb    2. aとc    3. bとd    4. cとd
- 問 100 ネフローゼ症候群患者とその看護について、誤っているのはどれか。
1. 低たんぱく食にする。
  2. 塩分制限が必要である。
  3. 浮腫が強い場合は、運動をすすめる。
  4. 身体を清潔に保ち、感染防止に努める。
- 問 101 骨折患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 下腿骨骨折は、フォルクマン拘縮の合併に注意する。
  2. 肋骨骨折の胸郭固定は、吸気が完了した時点で行う。
  3. 骨盤骨折は、尿路損傷の有無に注意する。
  4. 鎖骨骨折の固定は、両肩を前方に押した姿勢で行う。
- 問 102 神経損傷部位とその症状について、誤っている組合せはどれか。
1. 橈骨神経 ————— 下垂手
  2. 尺骨神経 ————— わし手
  3. 正中神経 ————— 猿手
  4. 坐骨神経 ————— 下垂足

- 問 103 椎間板ヘルニア患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 下肢の感覚障害の有無を観察する。
  2. 牽引療法中に痛みが増強するときは、一時中止し、やわらいだら再開する。
  3. 術後の体位変換は、脊柱をねじらないように介助する。
  4. コルセット装着中は、筋の強化訓練はしないように説明する。
- 問 104 女性生殖器疾患について、誤っているのはどれか。
1. 子宮筋腫の好発部位は、子宮頸部である。
  2. 子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス感染との関連がある。
  3. 子宮体がんは、不正性器出血がみられることが多い。
  4. 卵巣がんは、閉経前後の発症が多い。
- 問 105 女性生殖器疾患の内診時の看護について、誤っているのはどれか。
1. 診察の必要性を説明し、羞恥心と緊張の軽減に努める。
  2. 内診前に排泄を済ませておくように説明する。
  3. 内診時の体位は、砕石位（截石位）をとらせる。
  4. 内診中は、呼吸をとめるように指導する。
- 問 106 感染予防について、誤っているのはどれか。
1. 標準予防策（スタンダードプリコーション）は、すべての患者のケアに適用する。
  2. 針刺し事故の防止対策は、感染予防対策に含まれる。
  3. 手袋を使用した場合、はずした後の手指衛生は必要ない。
  4. ゴーグルを使用し、体液や分泌物等から粘膜を守る。
- 問 107 肺結核患者とその看護について、正しいのはどれか。
1. ツベルクリン反応検査は、24 時間後に判定する。
  2. 空気感染予防策を行う。
  3. 治療は、外科的療法が中心である。
  4. 咳嗽が消失すれば、抗結核薬の服用を中止するように指導する。
- 問 108 成人期のアトピー性皮膚炎について、誤っているのはどれか。
1. 急性の経過をたどる。
  2. IgEが上昇する。
  3. 乾燥性の苔癬化がみられる。
  4. ステロイド外用薬による治療が行われる。
- 問 109 熱傷患者とその看護について、正しいのはどれか。
1. 黒色壊死がみられる場合、第Ⅱ度熱傷と判断する。
  2. たんぱく質の摂取を制限する。
  3. 受傷部位のアクセサリーはすぐに取り除く。
  4. 植皮術後は、早期から患部を動かすように努める。

- 問 110 網膜剥離とその看護について、誤っているのはどれか。
1. 初発症状として、眼球突出がみられる。
  2. 急な入院・治療等による不安が表出できるように援助を行う。
  3. 病態が、裂孔（小さな穴）に留まる場合、レーザー治療などで対処ができる。
  4. 手術後は、うつむき体位などの同一体位で安静が必要となることが多い。
- 問 111 耳鼻咽喉科疾患について、正しいのはどれか。
1. 急性中耳炎は、水泳などで耳に水が入ることにより起こることが多い。
  2. 扁桃摘出術後は、すぐに常食が摂取できる。
  3. 急性副鼻腔炎では、吸入やプレッツ置換法を行う。
  4. 急性声門下喉頭炎（仮性クランプ）では、呼気性呼吸困難を起こす。
- 問 112 歯科・口腔疾患について、正しいものの組合せはどれか。
- a. 口唇ヘルペスには、抗真菌薬の投与が有効である。
  - b. う蝕症は、細菌により産生された糖が歯質を脱灰するものである。
  - c. 舌がんの治療は、手術療法が中心となる。
  - d. 顎骨骨折患者の顎間固定中は、流動食やミキサー食となる。
1. a と b    2. a と c    3. b と d    4. c と d
- 問 113 次のうち、正しいのはどれか。
1. 高齢者人口の割合が 14%を超えると、高齢化社会といわれる。
  2. わが国の高齢化の速度は、アメリカ合衆国より遅い。
  3. 2010 年のわが国の高齢者人口の割合は、ドイツより低い。
  4. 2010 年の国勢調査では、高齢者人口の割合は 23%である。
- 問 114 介護保険制度について、正しいのはどれか。
1. 第 1 号被保険者は、40 歳以上 65 歳未満の医療保険加入者である。
  2. 要介護認定は、介護支援専門員が行う。
  3. 要介護状態は、5 段階に区分される。
  4. 介護サービスを利用した場合、利用者は費用の 3 割を負担する。
- 問 115 介護老人保健施設について、誤っているのはどれか。
1. 医学的管理の下、看護・介護などを行う。
  2. 医療と生活を結ぶ中間施設である。
  3. 入所するためには、要介護認定を受ける必要がある。
  4. 居室は 10 人以上の大部屋を基準にしている。
- 問 116 訪問看護における看護職者の役割について、正しいのはどれか。
1. 入浴介助は行わない。
  2. 療養者だけでなく、家族にも支援を行う。
  3. 必要があれば、薬の処方をする。
  4. ターミナルケアは行わない。

- 問 117 高齢者の看護について、正しいのはどれか。
1. 高齢者の訴えを聞くだけで、状態の把握は正確にできる。
  2. 疾患に特有な症状だけではなく、全身を観察する必要がある。
  3. ケアは看護者のペースで実施する。
  4. 環境の変化に対する配慮は不要である。
- 問 118 高齢者とのコミュニケーションについて、誤っているのはどれか。
1. タッチングやマッサージは、非言語的コミュニケーションを促進する。
  2. 低い音域の聴力低下が目立つため、高い声で話す。
  3. 難聴がある場合、看護者の表情や口の動きがわかるように話す。
  4. 患者が聞き慣れた言葉ではっきりと話す。
- 問 119 嚥下障害のある高齢者への援助について、正しいのはどれか。
1. 食事の前に、首や舌の運動を促す。
  2. 顎を前に出す姿勢を保つ。
  3. 食事中は仰臥位にする。
  4. お茶や汁物は、食事の最後に摂ることをすすめる。
- 問 120 高齢者の疾患の特徴について、誤っているのはどれか。
1. 高齢になるほど、罹患している疾病の数が増える傾向がある。
  2. 病状・症状が定型的となりやすい。
  3. 合併症を起ししやすい。
  4. 身体機能障害は、要介護状態をまねきやすい。
- 問 121 高齢者の移動の援助について、正しいのはどれか。
1. 麻痺のある高齢者の歩行介助を行うときは、原則、健側に立つ。
  2. イスから立ち上がる場合は、バランスを崩しやすいので注意する。
  3. 歩行時は、スリッパを履くようにすすめる。
  4. 爪先から先に床につけて歩行するように促す。
- 問 122 手術を受ける高齢者とその看護について、誤っているのはどれか。
1. 手術前の浣腸で、ショックを起こすことがある。
  2. 手術前の呼吸訓練が重要である。
  3. 手術後は、幻覚・興奮・妄想などのせん妄状態は出現しにくい。
  4. 手術後、疼痛を強く訴えない場合も、疼痛管理は重要である。
- 問 123 高齢者の清潔の援助について、正しいのはどれか。
1. しわは伸ばして洗い、しわの間の水分をしっかり拭き取る。
  2. 入浴後は、パウダーを塗布するなどして皮膚を乾燥させる。
  3. 長い間入浴していない高齢者に対しては、熱い湯を使う。
  4. 皮膚を拭くときは、強く摩擦する。

- 問 124 認知症とその看護について、誤っているのはどれか。
1. アルツハイマー型・脳血管性・レビー小体型などがある。
  2. 中核症状として妄想がある。
  3. 物盗られ妄想に対しては、まずは一緒に探す。
  4. 患者の自尊心に配慮し、生活習慣を大切にす。
- 問 125 薬物療法を受ける高齢者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 薬剤を飲み忘れた場合は、次の時間に2回分まとめて服用するように説明する。
  2. パッケージやPTP包装シートを取り除いておく。
  3. 食後薬・時間薬・頓服薬など、服用法により薬袋を色分けする。
  4. 家族にも服用法や副作用について説明する。
- 問 126 入院中の高齢者とその看護について、誤っているのはどれか。
1. 行動範囲が狭くなり、寝たきりになりやすい。
  2. 入院生活に慣れるまで、支援が必要である。
  3. 退院にむけて、介護支援専門員など地域の人々との連携が必要である。
  4. 日常生活行動については、高齢者が決定する範囲を最小限にとどめる。
- 問 127 リプロダクティブ・ヘルス/ライツの基本的な要素として、誤っているのはどれか。
1. 女性が自らの意志で望むときに子どもをもつことができること
  2. 全ての女性が職業を選べるよう保証すること
  3. 全ての新生児が健康な小児期を過ごせること
  4. 性感染症の危険のない性的関係をもてること
- 問 128 母子健康手帳について、正しいのはどれか。
1. 母体保護法に基づいて交付される。
  2. 交付には医師の診断書が必要である。
  3. 市町村から交付される。
  4. 単胎か多胎かによらず、妊婦1人につき、1冊交付される。
- 問 129 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 正常妊娠とは、受精卵が子宮に着床し、発育し続ける状態をいう。
  2. 初めて妊娠した女性を初妊婦という。
  3. 過去に分娩の経験のある場合を経産婦という。
  4. 産褥とは、陣痛開始から産道が妊娠前の状態に戻るまでの期間と定義されている。
- 問 130 ヒトの染色体について、正しいものの組合せはどれか。
- a. 24対(48個)の常染色体がある。
  - b. 性染色体は1対(2個)からなる。
  - c. 卵子はYの性染色体を持っている。
  - d. 受精卵が持つ染色体の組合せにより性が決定する。
1. aとb
  2. aとc
  3. bとd
  4. cとd

- 問 131 次のうち、正しいものの組合せはどれか。
- 産道は、骨産道と軟産道からできている。
  - 娩出力とは、胎児及びその付属物を娩出させる力のことをいう。
  - 早期破水とは、陣痛開始前に起こる破水のことをいう。
  - 排臨とは、胎児の先進部が陣痛間欠時にも膣口から現れたままの状態をいう。
1. aとb    2. aとc    3. bとd    4. cとd
- 問 132 胎児の位置及び診察方法について、誤っているのはどれか。
- 胎児の診察方法のひとつにレオポルド触診法がある。
  - 胎位とは、胎児の軸と子宮の縦軸との関係をいう。
  - 児背が母体の右側に向いているものを第1胎向という。
  - 児頭を後ろにそらせている胎勢を反屈位という。
- 問 133 次のうち、原始反射でないのはどれか。
- 吸綴反射
  - ベインブリッジ反射
  - 把握反射
  - モロー反射
- 問 134 月（年）齢と歯の平均的本数について、誤っている組合せはどれか。
- 生後12か月頃    \_\_\_\_\_    3本
  - 生後18か月頃    \_\_\_\_\_    12本
  - 2歳～2歳6か月頃    \_\_\_\_\_    20本
  - 14歳頃    \_\_\_\_\_    28本
- 問 135 乳児の栄養について、正しいのはどれか。
- 母乳の分泌が十分な場合、1回の授乳時間は30分程度である。
  - 生後9か月以降は、鉄分が不足しやすい。
  - 離乳の開始は、生後2～3か月を目安とする。
  - 離乳食は、濃い味付けにする。
- 問 136 気管支喘息の発作時の患児とその家族の看護について、誤っているのはどれか。
- 発作時の体位は、仰臥位とする。
  - 会話が困難な場合は、うなづき・首ふりで答えられるような声かけをする。
  - 呼吸不全に陥ることが予測される場合は、バッグバルブマスクなどを準備しておく。
  - 患児を不安にさせないため、家族に落ち着いて対応するように指導する。
- 問 137 心不全のある乳児の看護について、誤っているのはどれか。
- 激しい啼泣が見られる場合は、あやすなどして安静を保つ。
  - 手足に冷感がある場合は、手袋・靴下や掛け物で保温する。
  - 強心薬・利尿薬の服用中は、患児が欲しがらだけ十分な水分を与える。
  - 哺乳中はチアノーゼの増強に注意して、時々休ませながら飲ませる。

問 138 I 型糖尿病児の特徴とその看護について、正しいのはどれか。

1. 発症の要因は、生活習慣である。
2. II 型糖尿病に比べて、急激に発症する。
3. 血糖値が安定すればインスリン注射は不要となる。
4. 食欲がないときは、インスリン注射は中断するように指導する。

問 139 法律の変遷とその特徴について、正しい組合せはどれか。

1. 精神衛生法 \_\_\_\_\_ 私宅監置を容認
2. 精神保健法 \_\_\_\_\_ 社会復帰や自立の促進
3. 障害者基本法 \_\_\_\_\_ 精神障害者も障害者と位置づけ
4. 精神保健及び精神障害者福祉 \_\_\_\_\_ 開放的処遇を重視  
に関する法律

問 140 ストレスについて、正しいのはどれか。

1. 心のゆがみのことである。
2. 結婚や昇任などは、原因にはならない。
3. ストレスがあっても、病気になるとは限らない。
4. ストレッサーとは、ストレスによる病気の総称である。

問 141 次のうち、誤っているのはどれか。

1. ADHD（注意欠如多動症）などの発達障害は、環境的ケアが重要である。
2. マタニティブルー（ズ）は、妊娠早期にみられる。
3. 職場のメンタルヘルス対策は、早期から相談できる体制づくりが望ましい。
4. 老化現象による物忘れは、認知症とは異なる。

問 142 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律で定められている次の入院形態のうち、本人または家族等の同意を要しない入院形態として正しいものの組合せはどれか。

- a. 任意入院
- b. 措置入院
- c. 医療保護入院
- d. 応急入院

1. a と b
2. a と c
3. b と d
4. c と d

問 143 思考障害及び自我意識の障害とその説明について、正しい組合せはどれか。

1. させられ（作為）体験 \_\_\_\_\_ 自分が外部から操られるという体験
2. 思考（考想）吹入 \_\_\_\_\_ 自分の考えが広く伝わってしまう体験
3. 思考（考想）奪取 \_\_\_\_\_ 思考が突然中断される体験
4. 思考（観念）奔逸 \_\_\_\_\_ 外部から考えが吹き込まれる体験

問 144 てんかんとその治療について、正しいものの組合せはどれか。

- a. 症候性てんかんは、脳及び身体疾患によって起こる。
- b. 発作の型は、全般発作と重積発作に分けられる。
- c. 治療は、薬物療法によって発作を予防することが中心となる。
- d. 過労と発作との間に、関連性はみられない。

1. a と b    2. a と c    3. b と d    4. c と d

問 145 アルコール関連障害について、正しいのはどれか。

1. 急性アルコール中毒では、死には至らない。
2. 振戦せん妄では、小動物幻視がみられる。
3. コルサコフ症候群は、主症状として振戦がある。
4. 病的酩酊の多くは、酩酊中のできごとを記憶している。

問 146 神経症性障害及びストレス関連障害について、正しいのはどれか。

1. 強迫性障害は、自分で不合理と分からずに、強迫症状を繰り返す。
2. 心的外傷後ストレス障害（PTSD）は、外傷を経験した直後から発症する。
3. 解離性障害は、記憶や自己同一性などが混乱し、統合が失われる。
4. 心気障害は、器質的な障害を伴う。

問 147 入院中の精神疾患患者の看護について、正しいのはどれか。

1. 面会は許可するが、基本的に電話はとりつがない。
2. 金銭や私物の管理は、基本的に看護者が行う。
3. 身体的拘束は、短時間であれば看護師の判断で実施してよい。
4. 12 時間を超える患者の隔離は、精神保健指定医の判断が必要である。

問 148 精神疾患に伴う症状に対する看護について、適切でないのはどれか。

1. 幻覚・妄想がある場合は、現実ではないと否定する。
2. 躁状態では、刺激に対して敏感になるため、環境を整える。
3. 拒食が長期間持続する場合は、栄養補助食品や持続点滴などで、必要なエネルギーが摂れるように工夫する。
4. けいれん発作時は、衣服などをゆるめ、気道の確保と誤嚥の防止に努める。

問 149 抑うつ状態にある患者の看護について、誤っているのはどれか。

1. 訴えをよく聞く。
2. 励ましの言葉をかける。
3. 日常生活行動ができないときは、生活面の援助を行う。
4. 回復期には自殺に注意する。

問 150 抗精神病薬を服用中の患者が、「足がむずむずして座ってられない」と訴えた。考えられる副作用として、正しいのはどれか。

1. 遅発性ジスキネジア
2. ジストニア
3. 悪性症候群
4. アカシジア